

夢あふれる学校図書館

～尾商らしく、あたたかな空間～

広島県立尾道商業高等学校

本校図書館は令和2年度に「学校図書館リニューアル」を実施し、カーペットやソファのあるリラックスできる空間に生まれ変わりました。職員室と同じフロアにあるため利便性も良く、読書や授業利用のほか、ゆっくりくつろいだり、部活動などのミーティングをしたり、誰でも気兼ねなく利用できる憩いの場となっています。本を借りることだけが目的でない利用者も多いので、資料に少しでも興味・関心を抱き、手に取ってもらえるよう、視覚に訴える展示・配架することを心がけています。

図書委員の 取組

「図書館は商業教育実践の場」をモットーに、昼休憩のカウンター当番の合間や放課後を使い図書館内の装飾や展示コーナーの作成などに取り組んでいます。

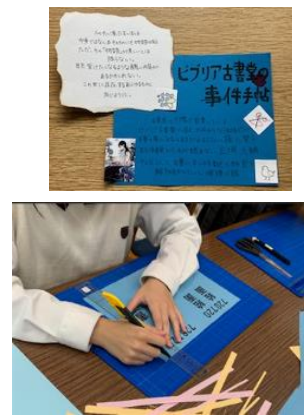
夏休み中には、普段なかなかできない書架の清掃や、資料の配置替えなども行いました。また、尾道市立大学の協力を得て、附属図書館の見学にも行きました。

尾商図書館マスコットキャラクター

令和2年度の3年生図書委員が考案したキャラクター「Raboo(ラブー)」は、後輩たちが新たにイラストを描き下ろしたり、それをういて返却のしおりを作ったりと、今も愛され続けています。



ウエルカムボード・見出し板・POPの作成



展示コーナー



尾道市立大学附属図書館見学

図書館の見学は生徒からの希望を受け、尾道市立大学附属図書館に御協力いただきました。図書委員有志が図書館の利用方法を学んだり、高校図書館との違いや、自分たちでも真似できる工夫などを観察したりと、有意義な時間を過ごしました。見学後、その足で近くの公共図書館に自ら行き、学びを深めた生徒もいました。



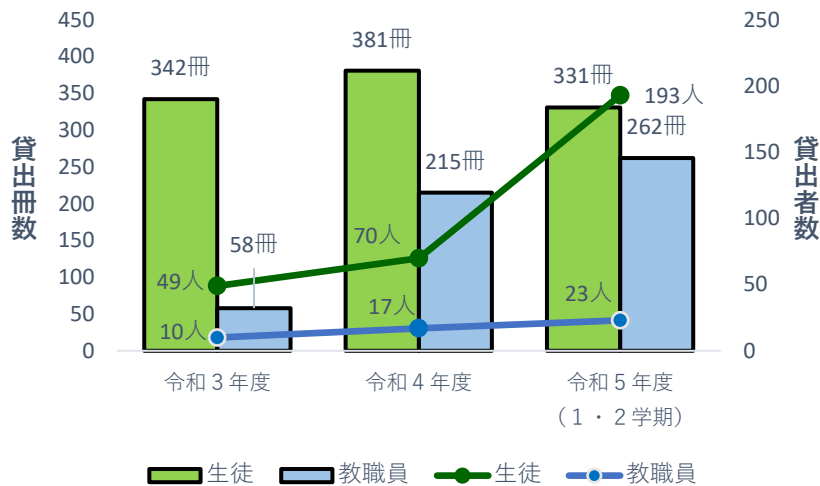
その後、生徒の発案で附属図書館の書架を真似た図書委員おすすめ書架を設置しました。



利用状況の比較

リニューアル後も、貸出者・貸出冊数ともに年々増加しています。令和5年度は1・2学期のデータですが、授業での図書館利用も増えたため、貸出者数は例年の数倍、貸出冊数も例年の数字に迫っています。また、このグラフには表れていない実際の利用者、来館者はもっと多く、リピーターも増えています。

年間貸出者数・貸出冊数の推移



その他の取組

展示コーナー・新着本コーナーの設置、面出しをした配架、見出し板の活用、新聞やポスターを用いた展示など、見て分かりやすく手に取りやすい工夫をしています。商業高校ならではの取組として、デザインや広告の勉強のため一部の図書は帯を残したまま装備をしています。また、令和5年度は蔵書点検も実施しました。

入口横のガラスケース展示



新着本コーナー



新聞を使った展示



書架の様子



広報活動

- ・ 図書館だよりの配付
- ・ 新着リストの配付・掲示



県立図書館との連携

- ・ 定期便の展示・リスト配付
- ・ レファレンス利用
- ・ 図書セットの利用
- ・ Libnetの活用した貸出、またその資料を用いての授業支援



商業高校らしい図書館とは何かを考え、図書委員をはじめとした生徒が活躍できる場となるよう、司書教諭、学校図書館担当、ひいては学校全体一丸となって取り組んでいきます。